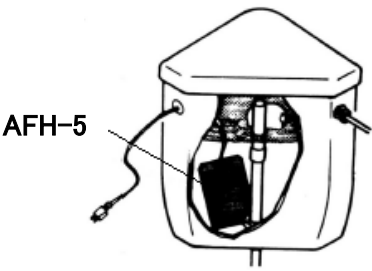


凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損するおそれがあります。
次の中から適切な処置を選んで実施してください。

- 1.室内暖房
トイレ室内を暖房してください。
- 2.ロータンクの水抜き
止水栓を閉め、ロータンク内のオーバーフロー管を引き抜いて水を抜いてください。
- 3.凍結防止ヒーターの利用
 - ロータンクは、オプションのロータンク用凍結防止ヒーターを使用してください。



凍結防止ヒーターの説明書をよく読んで使用してください。
ヒーター部を水に沈めてから電源プラグをコンセントに差し込んでください。
使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 給水管は、水道凍結防止ヒーターを巻き付けてください。

凍結した場合

- まず、トイレ室内を暖めてください。
- 便器、ロータンクが凍結した場合
 - …40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に温めると陶器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので注意してください。
- 給水管が凍結した場合
 - …お湯に浸した雑巾等をあて解凍してください。
凍結破損することがありますので、解凍後、漏水する場合はアフターメンテナンスを依頼してください。

便槽についての注意事項

警告	マンホールのフタは、必ず閉めてください。 また、ロック機構のあるものは必ずロックしてください。 転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。
注意	通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。 車などがのる場合は特殊工事が必要となりますので、専門の工事業者に相談してください。 便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れての転落事故の原因となります。
	便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗浄剤、芳香剤等を入れないでください。 便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

長期間使用しないとき

旅行や長期間不在のとき、長期間使用しないときは次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① フラッシュバルブ用止水栓を閉めてください。
- ② 洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
- ③ フラッシュバルブと洗浄ガンの水抜きをしてください。

再び使用するとき、フラッシュバルブ用止水栓を開いてください。
暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等は各々の説明書をお読みください。

仕様			
外観寸法	便器本体	幅:275 [㍿] 奥行:674 [㍿] 高さ:177 [㍿]	
	ロータンク	幅:300 [㍿] 奥行:300 [㍿] 高さ:480 [㍿] (455 [㍿])	
重量		約35kg	
材質		便器本体、ロータンク:衛生陶器	
洗浄水量		約350cc	
ロータンク容量		インナータンク付:約5 [㍿] 、 無:約15 [㍿]	

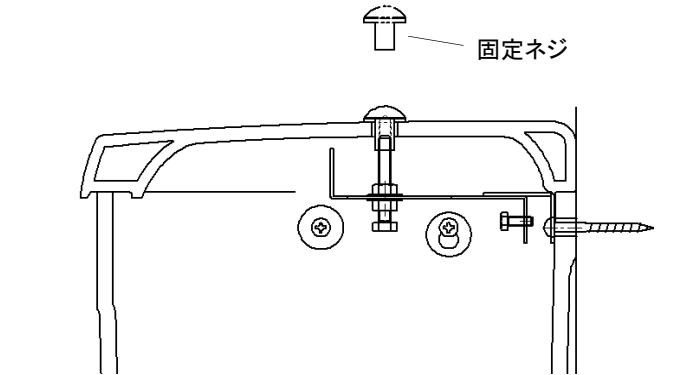
メンテナンス部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

主な取替、修理部品	材質	使用箇所
フロート弁	ゴム	ロータンクバルブのパッキン
スピンドルパッキン	ゴム	ボールタップのパッキン

タンクフタ固定式の外し方

プラスドライバーで固定ネジを外してからタンクフタを外してください。



和風簡易水洗便器

JT



お客様用

取扱説明書

このたびは、当社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この便器は、汲み取り式便槽と組み合わせて水洗化できる簡易水洗便器です。

■ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく使用してください。

■本書は、必要なときにすぐに取り出せるところに大切に保管してください。

■転居時に残される場合は、本書を次の入居の方に必ずお渡しください。

目次	ページ
安全にお使いいただくために	1
各部の名称とその役目	1
ご使用方法、洗浄水量調整方法	1
お手入れ	2
故障・異常の見分け方と処置方法	2
部品の点検、交換のしかた	2
凍結のおそれのあるとき	3
長期間使用しないとき	3
仕様	3
メンテナンス部品について	3
便槽についての注意事項	3
アフターサービスと保証	4

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1 TEL 092-521-1800

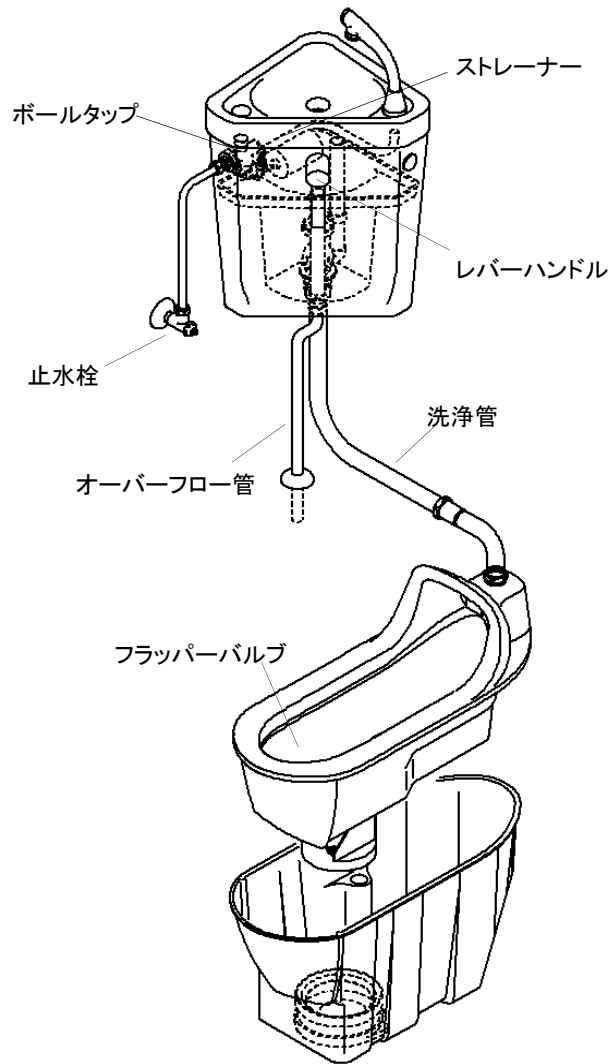
2012

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

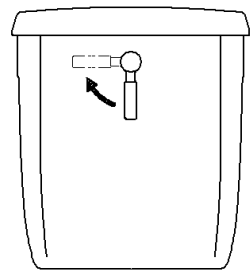
便器の中にタバコの吸ガスを捨てないでください。 火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。	レバーハンドルは、手で静かに操作してください。 レバーハンドルに無理な力を加えたり、衝撃を与えたり、足で操作したりするとケガや故障の原因となります。
掃除には中性洗剤以外使用しないでください。 酸性、アルカリ性の洗浄剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類、うじ殺し、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。	紙は、必ず市販のトイレトーパーを使用してください。 ティッシュペーパーや固い紙(新聞紙、雑誌)等は水に溶けにくいため、排水管が詰まる原因となりますので、使用しないでください。また、生理用品等も便器に捨てないでください。
ロータンク内に物やゴミを入れないでください。 ロータンクの中に物やゴミを入れるとバルブにかみ込み水が止まらなくなり、便槽があふれることがあります。	タンクの手洗で雑巾を洗ったり、泥まみれの手を洗わないでください。 バルブにかみ込み水が止まらなくなり、便槽があふれることがあります。
投げ込み式、置くだけ等の洗浄剤、芳香剤は使用しないでください。 便器やロータンクのプラスチック・ゴム部品が変形・変質して故障の原因となります。	洗浄管に乗ったり、つかまったりしないでください。 接続部から漏水した場合、家財を濡らす原因となります。
簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量を確認の上、汲み取ってください。 使用している便槽の容量と通常の汲み取り量をお確かめの上、正月やお盆など使用量が多いときは、便槽が一杯になっていないかを点検し早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等にお問合せください。	使用水道圧:0.05MPa～0.75MPa。で使用してください。 故障の原因となります。
凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜き、凍結防止ヒーターの利用などを行ってください。 凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。	便器の中に熱湯をかけないでください。 ゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。
	幼児、お年寄り、身体のご不自由な方が使用するときは、周りの片が常に注意をしてください。
	長期間使用しないときは、止水栓を閉めて水抜きをしてください。

各部の名称とその役目



フラッパーバルブ	汚物の排出弁と便槽からの臭気を遮断する役目をします。 このバルブは、オモリのバランスで開閉します。
レバーハンドル	操作すると、水が流れます。
ボールタップ	ロータンクの水を溜める役目をします。
ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除く役目をします。
オーバーフロー管	ボールタップが故障し、水が止まらなくなったとき、ここから屋外へ排出する役目とオーバーフロー管を引抜くことでロータンクの水を抜く役目をします。
止水栓	便器の元栓の役目と水勢調整の役目をします。 水が止まらないときは、この止水栓を閉めてください。

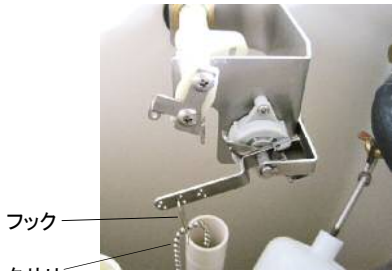
ご使用方法



レバーハンドルを時計回りに回してください。
洗浄水が流れて止まります。

【注意】
必要以上に水を使わないでください。
便槽の汲取り量が増えます。

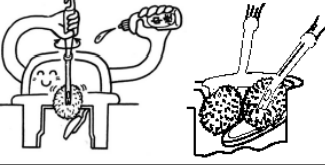
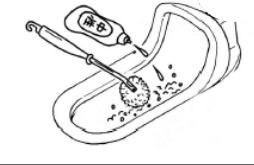
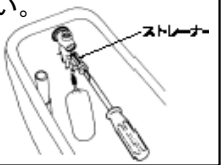
洗浄水量調整方法



クサリ(ボールチェーン)の長さを変えることで洗浄水量を調整します。
フックとクサリの引っ掛け位置を下げると水量が増えます。

【注意】
洗浄水量を減らそうと引っ掛け位置を上にとすると便器の洗浄が悪くなります。

お手入れ

便器、フラッパーバルブのお手入れ フラッパーバルブはトイレブラシと中性洗剤で週1～2回程度、またリップゴムの先端もよく掃除してください。 	便器のお手入れ 中性洗剤を使ってスポンジや柔らかい布で掃除してください。 	金具のお手入れ 金具は、放っておくとサビたり汚れたりします。柔らかい布で拭いてください。金具の表面をキズつけるものは使用しないでください。 	ストレーナーの掃除 ボールタップにゴミや異物が入らないようストレーナーを付けています。洗浄水の出が悪いときは、止水栓を閉めてからストレーナを掃除してください。 
--	--	---	---

故障・異常の見分け方と処置方法

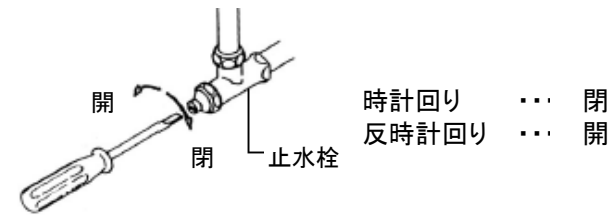
まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
便器に水が出ない	断水している。	近くの蛇口で確認してください
ロータンクに水が溜らない	止水栓が閉まっている	止水栓を開く
便器への水が止まらない	ストレーナーのゴミ詰り	ストレーナーの掃除
ロータンク内の水又はボールタップの水が止まらない	フロート弁のゴミ詰り	止水栓を閉め、フロート弁にゴミ噛みしていないかの確認
手洗の水が止まらない	ボールタップのスピンドルパッキンのゴミ噛み又はキズ、交換時期になっている	止水栓を締め、ボールタップの点検を行ってください 直らないときはアフターサービスを依頼してください
床に漏水	小便の飛び散り	床を拭いて小便かどうかの確認
汚物が排出しない	便槽が一杯になっている 便器と便槽の配管詰まり	便槽のマンホールを開けて確認し汲取り業者に依頼 市販のパイプクリーナー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼
フラッパーが開きっぱなし	フラッパーの裏や回転部分に汚れが付着している 風量の大きい排気扇(臭突ファン)が付いている	オプションの洗浄ガンとU字ノズルで掃除 排気扇の電源を抜いて使用しないか、風量を70m³/h以下のものに取り替える
フラッパーが開かない	フラッパーの裏や回転部分に汚れが付着している 水だけでは開きません	オプションの洗浄ガンとU字ノズルで掃除

○上記処理で直らない場合は、止水栓を閉めてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。
○直るまでは、止水栓を閉めたままにし、ご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、バケツ等で水を流してください。

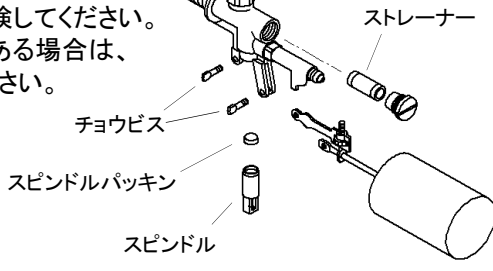
部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法



ボールタップの点検、部品交換

- 止水栓を閉めてください。
- ロータンクの水を抜いてください。
- ロータンクの水抜きをしてください。
- ペンチでチョウビス(2本)を外してください。
- スピンドルを抜き取ってください。
- スピンドルパッキンにキズやいたみがないか点検してください。
- キズやいたみがある場合は、部品交換してください。



ロータンクの水抜き

- 止水栓を閉めてください。
- ロータンクの水を抜いてください。
- オーバーフロー管を反時計回りに回し、ツメの位置を合わせて引き抜いてください。水が屋外に排出されます。
- オーバーフロー管を取り付けは、ツメの位置を合わせて差し込み、時計回りに回してください。そのまま上に持ち上げて外れないことを確認してください。

【注意】
差し込む時、Oリングがめくれないように注意してください。

